

● 東京で輝くCIR ～CIRとの協働をチームの成長チャンスに／  
CIRとつくる新しい国際交流のかたち～  
—— 東京都政策企画局戦略広報部国際広報担当／  
東京都港区産業・地域振興支援部地域振興課

## 国際広報の重要な担い手として

東京都は2022年4月、新たに戦略広報部を発足しました。都の広報発信力をより強化すべく立ち上がった、全庁横断型の広報・PRの専門部隊です。

この新たな部の発足と同時にロンドンから国際交流員(CIR)として着任したラーナさんは、国際広報チームに所属しています。国際広報のミッションは、東京ひいては我が国の国際的なプレゼンスを高め、世界中にTokyo/Japanファンを獲得すること。具体的には、海外メディアからの取材や講演依頼などへの対応、海外向けSNS「Tokyo Gov」やオウンドメディア「Tokyo Updates」の運営、ニュースリリース発出など、国際社会に向けた効果的な情報発信の戦略策定や実施を担っています。

ラーナさんには、リサーチやイベントの広報支援、スピーチライティングなど幅広い広報業務に携わっていただいています。本人も広報のノウハウを日々蓄積し、彼女自身のステップアップにつながる経験を積んでいただいています。



海外報道のリサーチをするラーナさん

### ◆一緒に働く職員の声

ラーナさんは、まさに私たちが情報を伝えたい「広報ターゲット」。国際広報チームにとって大変貴重な存在です。例えば、海外で行うスピーチは日本語を単に英訳しても聴衆にはうまく伝わりませんが、ラーナさんはウィットの効いたジョークや文化的背景など、日本人だけでは思いつかないアイデアを数多くチームに提供してくれます。

「伝わる広報」「共感できる広報」を実践するためには、情報の受け手の視点に立ったコンテンツ制作や情報発信が不可欠。英国と日本を深く知るラーナさんならではの意見が、東京都の国際広報に厚みや奥行きを与えてくれることを実感しています。

## 海外人材と仕事をするということ

ダイバーシティは組織の強さ。これからの自治体にとってCIRなどの海外人材の採用は、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)や国際潮流を踏まえた戦略的な行政を実現するための、有意義かつ実践的な選択肢の1つになるでしょう。

日本を選んでくれたCIRの皆さんには「この街で働けてよかった」と言ってもらい、将来の二国間の懸け橋として羽ばたいていただきたいですし、私たち地方自治体の職員も、それと呼応してさらに高いレベルへと進化していきたい、そう思っています。

(東京都政策企画局戦略広報部国際広報担当)



海外向けSNS  
Tokyo Gov



オウンドメディア  
Tokyo Updates

## 港区の国際化を新たな視点で

国内の在日大使館の半分以上が立地する港区は、国際化をより推進し、外国人に寄り添った施策を展開できるよう、2022年8月下旬から、フランス出身のCIR、ブロンディ・テオフィル（テオ）さんを仲間に迎えました。

国際化推進係では、在住外国人の日々の相談や情報提供、多言語対応の推進、地域の日本語学習支援、各国大使館などと連携したさまざまな事業を行っています。

これまで日本人職員のみで行っていた事業を、外国人ならではの視点で見直してもらい、より良いものに変えていけるように、テオさんには色々な業務に携わっていただいています。

## 港区 CIR の日々

テオさんの主な仕事内容は以下のとおりです。

### ・SNS を活用した情報発信：

「Minato Information Board」という区のフェイスブックページで、区内で開催されるイベントなどについて発信しています。



Minato Information Board

### ・大使館などとの連携：港区では

多数の大使館などと連携したイベントを定期的で開催しています。大使館が自国の文化や特産品を紹介するみなと区民まつり「国際友好広場」や「みなとブロッサムフェスタ」の運営支援を行っています。

### ・外国人相談：在住外国人の日々の相談では、通訳をしながら、抱えている問題の解決のために必要な、他部署との橋渡しを行います。多種多様な相談があるため、一つ一つ知識を付けながら日々相談対応をしています。



通訳を行うテオさん（右）

## Minato World City Club

テオさんは、大使館などとの連携を深め、情報共有をより円滑にし、サービスの向上や区民の国際交流の推進を図るために、毎年大使館の実務者を招いて開催していた「実務者連携会議」という事業の担当になりました。

2023年の会議では、テオさんの発案で、親しみがわき、カジュアルな雰囲気づくりを行い、さまざまな意見を引き出せるよう、会議名を変更し、参加者同士のつながりを強化するため、交流の時間を設けました。

新しい会議名については、国際的な多様性を持つ港区にとって大使館や国際機関の存在も大きな特徴であり、一丸となって港区の国際化を推進していきたいという願いを込め、「Minato World City Club」と命名してもらいました。

このクラブは、年に一度集まるだけでなく、通年、話し合えるコミュニティを作ることを目指しています。そのためには、コミュニティの場をオンライン化したいとテオさんは考えており、現在はオンライングループの立ち上げを検討しています。



Minato World City Club の様子

### ◆テオさんからの一言

大使館などと交流しながら、港区の国際的な多様性を生かすことが何よりのやりがいです。Minato World City Clubをはじめ、他の事業も、全てを通じてサポートしてくれる国際化推進係のチームワーク精神が港区全体に広がれば、多文化共生への重要な貢献になるのではないかと感じています。

（東京都港区産業・地域振興支援部地域振興課）